

今、“戦争か平和か”が問われています

平塚市議会から、“戦争立法ノー”の声を上げていきます

平和を守る共産党へのご支援を

自民党と公明党が、 戦争する共同文書に合意

これが戦争立法です。選挙終了後、立法準備

○米国への軍事支援を、歯止めなく拡大

○国連が認めない戦争にも、参戦

○日本が、攻撃されなくとも、アメリカがやる戦争に参加する

○戦争参加は、その時の政権が、無制限で判断できる

国民を、ふたたび戦争にまきこむ 自民党と公明党

2000万人以上のアジア・太平洋各国の人達がなくなり、310万人の日本人が亡くなった、あの太平洋戦争。

そして、アジアに派兵された日本兵も、大半が飢えて、死亡した無謀な戦争。

大空襲と広島・長崎の原爆被害、焦土と化した沖縄戦。

あの戦争を再び起こさないと誓った新憲法を否定する自民党と公明党に、明確な審判を下しましょう！



渡辺議員の談話

昨年7月の集団的自衛権を可能にする憲法解釈の変更、安倍政権の恐ろしさを強く感じました。

私は19歳の時に初めて水爆禁止世界大会に参加し、その後たびたび大会に参加

をしてきました。

原爆資料館を訪れ、また被爆者のお話を聞き、その戦争の悲惨さを知り、平和運動に参加しました。これが私の運動の原点です。

今回の「戦争立法」の自公の合意事項を知り、集団的自衛権の憲法解釈変更に続き、ここまで憲法9条を破壊しようとするのかと驚きと怒りがこみ上げてきました。

まさに日本の将来を左右する戦争立法。国民の大反撃で成立を阻止しなければなりません。

平塚市民新聞

3. 4月号外

共産党の政策をお知らせしています

日本共産党平塚市委員会

平塚市天沼 2-43 TEL 23-0714